

CBR試験

CBRとは(California Bearing Ratio)の略称で、米国カリフォルニア州で考案されました。日本では(路床支持力比)と呼ばれ、標準的なクラッシュランの支持力の平均値(標準荷重)に対する試験対象材料の支持力の割合を百分率で表します。試験の対象は主に路床土や路盤材で、試験によって得られる設計 CBR や修正 CBR は、アスファルト舗装設計や舗装材料の選定に利用されています。試験には室内 CBR 試験と現場 CBR 試験があり、室内試験には更に(締固めた土の CBR 試験)と(乱さない土の CBR 試験)があります。設計 CBR は室内の(締固めた土の CBR 試験)で求めることが一般的ですが、現場の状態や施工方法の事情から、現場 CBR 試験等を適用することもあります。

CBR 試験方法 日本産業規格：[CBR試験方法(JIS A 1211)]

室内試験では、モールド(容器)内に締固めた材料(または乱れの少ない試料をモールドに入れた材料)に鋼製のピストンを一定速度で貫入し、一定の貫入量ごとに応力を測定します。現場では対象部位に直接同様の操作をします。貫入量が 2.5mm と 5mm の時の応力を標準荷重で除し、2.5mm の時の値を CBR としますが、5mm の時のの方が大きい場合はその値を CBR とすることもあります。



試験状況(供試体作製)



試験状況(貫入状況 1)



試験状況(吸水膨張試験)



試験状況(貫入状況 2)

